

登場人物 ピーター おかあさん おとうさん スージー (犬のウイリー)

中心人物 ピーター・・・(思いや願い) おかあさんやおとうさんに自分を見て欲しい。かまってほしい。  
(変化・成長) 自分のいすを持って自分の部屋へかけてった。

↓

自分のいすを持って家出をした。

↓

自分のいすを妹のためにピンクに塗ろうと自分から言った。

### 【各場面で予想される問題と展開】

一二の場面でピーターやおかあさんの言動に着目して問題を作り、具体的に場面の様子を想像していく。

問い ピーターはなぜつみ木のビルを作ったのか。

→お母さんの気を引き、自分のことを構って欲しいから。

問い ううんとせのびってどんなようすか。普通のせのびとは違うのか。

→あえてうんとという言葉を使っていることに着目させて、普通の背伸びではないことからイメージを膨らませる。無理をしている。→お母さんの気を引きたい?

問い おかあさんはどこにいるのか。

→妹スージーの部屋。

問い ~のこえてどういいうきに使うのか。

→例文などを用いて、声の主が見えていない場合に使うことをイメージさせる。

例文：下の階から2年生の声が聞こえた。家の外からパパの声。など

問い 生まれたてってどれくらい? 1年、半年、3ヶ月、1ヶ月、・・・

問い 妹が生まれる前の生活と今の生活はピーターにとってどんな違いがあるのか。

問い ピーターは何のために部屋を覗いたのか。妹の様子を見るため? お母さんの様子を見るため?

→お母さんはゆりかごの周りで、大いそがし。このことからピーターはお母さんの様子を見るために隣の部屋を覗いたことがわかる。

問い なぜピーターの言葉が変わっているのか。

「あれ、ぼくのゆりかごだったのに、ピンクにぬっちゃった。」

↓

「あれ、ぼくのしょくどういすなのになあ。」

↓

「ぼくの赤ちゃんベッド。これもピンクにぬってあるぞ。」・・・驚きの気持ち (ぞ)

↓

「あれは、まだ、ぬってないぞ。」・・・驚きの気持ち (ぞ)

→ベッドもピンクに塗られていることを発見し、焦りや驚きを感じ、まだ塗られていない自分の椅子を見つけ興奮して大きな声をあげた。

問い なぜピーターは家の前で「ここがいいや。」と言ったのか。

問い 家出のイメージは？家の前にいることでいいことがあるの？

→お母さんに声をかけてもらいやすい。

問い 「ここでいいや」と「ここがいいや」のちがいはある？

問い 大きくなりすぎていたとはどういうことか。

→ピーターの予想を超えて自分の身体が成長していることに気がついた。

三の場面でピーターやおかあさんの言動に着目して問題を作り、具体的に場面の様子を想像していく。

問い なぜお母さんはピーターが家出をしたのに驚いた様子を見せないのか。

→ピーターの家出は初めてではないから。

問い ピーターの家出が初めてではないことはどこからわかるか？

→ピーターや犬の準備の手慣れさ。

→おかあさんが迷うことなくピーターがカーテンのかげにしていると判断して、カーテンを押しつけたこと。いつものルーティンだということの根拠にもなる

問い なぜピーターは聞こえないふりをしたのか。

→ピーターの考えたいいことの中身の一つだったから。

問い ピーターの考えたいいことって何か。

→いつもと違うことをして自分の心（頭）の成長を確かめること。

（ピーターの考えたいいこと）

①お母さんの呼びかけに聞こえないふりをする。

→しかしの逆接から普段ならピーターが対応していることが読み取れる。

②いつもと違うとことへ隠れてお母さんを驚かす。

→おかあさんがうれしそうにカーテンのかげにすることを予想し、疑いもなくカーテンをはねのけていることから家出の後はずっとそこへ隠れていることが読み取れる。

問い なぜお母さんはピーターが家に帰っているのがわかったのか。

→具体的な叙述はないので子どもたちにイメージをさせる。

四の場面でピーターの言動に着目して問題を作り、具体的に場面の様子を想像していく。

## 大問題

なぜピーターは自分の部屋に持っていった椅子を最後にはピンクにぬろうと言ったのか。

### 大問題を解決するのに考えたい問い

15 ピーターは大きくなりすぎていたんだ。

問い 大きくなりすぎるとはどういう意味か。大きくなっていたとは違うのか。

過ぎる・・・普通の水準を越す。→その結果不都合なことが発生する

問い ここでの普通とは何か。不都合なこととは何か。

↓

ピーターが予想していたより体が大きくなっていた。その結果発生した不都合なことはいすに座ることができなくなったこと。

ピーターにとって、ちっちゃいときにすわっていたいすに座れなくなっていたことは予想外のこと。ここで予想以上の体の成長を自覚し、自分の椅子に座り自分の思いをアピールすることができなくなってしまった。一種の恥ずかしさのようなものも感じたのではないだろうか。そこでピーターは、今までとは別の方法で両親に構ってもらう必要が出てきた。ピーターの課題（解決しなければいけないこと）は今までとは違うやり方で両親に自分を構ってもらう方法を考えること。

17 ピーターとウイリーは、しかし、きこえないふりをした。ピーターは、いいことかんがえたんだ。

問い ピーターが考えたいいこととは何か。→だれにとっていいことなのか。

- ①おとうさん
- ②おかあさん
- ③スージー
- ④ピーター（自分） ※解釈ではこちらを想定

この後ピーターがしたことは大きく三つ

一つ目はおかあさんの予想外のところから現れたこと

結果 → 今までとは異なるおかあさんとの関わりが生まれた

二つ目はおとなのいすにすわったこと

結果 → おとうさんがそばにすわった（このことから、おとうさんのいすにすわったと予想する。）

三つ目はおとうさんに「おとうさん、あのちっちゃないす、スージーのためにピンクにぬろうよ。」といったこと。

結果 → おとうさんと二人の時間を過ごせた。

ここでピーターが考えたいいこととは、今までとは異なった両親との関わりの方法。